

**令和6年度大学・高専機能強化支援事業**  
**(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)**  
**事業概要**

令和6年2月申請時点

**1. 基本情報**

大学名	成蹊大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京
大学全体の総収容定員	7,160名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	経済学部（経済数理学科、現代経済学科） 理工学部（理工学科） 文学部（英語英米学科、日本文学科、国際文化学科、現代社会学科） 法学部（法律学科、政治学科） 経営学部（総合経営学科）		
事業計画名	成蹊大学 国際共創学部 国際共創学科（仮称）の設置計画		

**2. 事業概要**

環境問題など複雑化する社会課題の解決に向け、総合的な「知」の創出と活用が求められています。本事業では、持続可能な地球・社会の実現に向け、**環境、地域、文化**を理論と実践の両面から学び、グローバルとローカル、文系と理系の複眼思考を持って**社会課題の解決に他者と協働して果敢に挑戦する人材**を育成するため、「国際共創学部」(入学定員：150名、収容定員600名)を2026年度に新設し、その中に国際日本学専攻、環境サステナビリティ学専攻を設定する計画です。新学部では、**グリーン（GX）・デジタル（DX）人材**の育成につながる、環境学、地理学、地域学、フィールドワーク、データサイエンス・統計学をはじめ、国際社会で活躍するための英語力修得のための教育課程を編成する計画です。また、自治体、外部機関、他大学等と連携したプロジェクト型授業やフィールドワーク科目を展開するほか、**環境計測、気象衛星データや地理情報システム**の利用など、**地域や世界の自然・社会環境を地理学的手法や数理科学的手法**で学修することを可能とする教育課程を編成予定です。

**3. 本事業で新たに設置等を行う組織**

改組予定年度	令和8年度				
認可申請・届出の別	届出				
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）				
設置等組織名	国際共創学部 国際共創学科（仮称）				
設置等組織の学位分野	理学関係	文学関係	-	-	-
当該学部等の所在地	東京都武蔵野市				
入学定員	150名				
収容定員	600名				
入学定員の増加数	150名				
他学部等の入学定員の減少数	30名				

事業計画名 成蹊大学 国際共創学部 国際共創学科(仮称)の設置計画

基本情報

改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	国際共創学部 国際共創学科(仮称)	入学定員増数(合計数)	150名
所在地	東京都武蔵野市	改組内容	学部の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	入学定員減数(合計数)	30名

<社会や地域のニーズ・課題>

- 脱炭素事業を通じて地域における社会課題の解決(地域社会の活性化)を自治体や企業において主導できる**グリーントランスフォーメーション(GX)人材**の育成。
- 企業や自治体のDX化を推進する上でビジネスサイドとデータサイエンティストサイドの両方の考えを整理し翻訳できる**ビジネストランスレーター**の育成。
- 宇宙システムを用いた環境モニタリング等を通じて**防災・減災に貢献する人材**の育成。

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 持続可能な地球・社会の実現に向けて、**環境、地域、文化**を**理論と実践**の両面から学び、**グローバルとローカル、文系と理系の複眼思考**を持って**社会課題の解決に他者と協働して果敢に挑戦する人材**を育成。
- 「国際共創学科(仮称)」の1学科から構成され、その下に「**国際日本学専攻(仮称)**」、「**環境サステナビリティ学専攻(仮称)**」の2つの専攻を設定。
- 「国際日本学専攻(仮称)」では、「**文化学**」「**地域学**」等を基盤分野とし、日本と世界をつなぐ文化の交流・多様性、さらにグローバル化する日本の地域の諸課題、日本語教育等について多角的に学ぶ。
- 「環境サステナビリティ学専攻(仮称)」では、「**環境学**」「**地理学**」等を基盤分野とし、地域や社会と協働する環境科学的な学びを軸とする。

<教育内容・育成する人材像>

- グリーン(GX)・デジタル(DX)人材**の育成につながる、**環境学、地理学、地域学、フィールドワーク、データサイエンス・統計学**をはじめ、国際社会で活躍するための**英語力修得**のための教育課程を編成。
- 自治体、外部機関、他大学等と連携**したプロジェクト型授業やフィールドワーク実習を展開するほか、環境計測、気象衛星データや地理情報システムの利用など、**地域や世界の自然・社会環境を地理学的手法や数理科学的手法**で学修。
- 専攻間の垣根を越えて興味・関心に応じて自由な科目選択が可能。
- 知識と思考力(Critical Thinking)、表現力と発信力(Communication)、チームワーク力と実行力(Collaboration)の3つ力を育む。

<連携を通じた教育体制の整備>

- 自治体等との連携:**東京都武蔵野市、北海道帯広市、連携協定締結大学**との連携協定に基づくフィールドワーク科目を設置予定。  
地域の社会課題の解決に向けて現地の人々との交流・協働を通じて考察する。
- 外部機関との連携:**国際協力機構(JICA)**との連携による海外派遣プログラム、**国立極地研究所**との連携協定による環境教育の推進を構想。

<多様な入学者の確保>

- 女子学生の確保**:「環境」「サステナビリティ」「国際理解」「SDGs」等に関心のある女子生徒を対象とした講演会・イベント、女子高校・女子中学への出張授業等を実施。
- 地域の初等・中等学校との連携**:ユネスコスクールネットワークを活用した出張授業や武蔵野市教育委員会と連携した小学生向けの「地球温暖化教室」を継続・発展。
- 留学生の受け入れ**:英語による授業科目を多数設定、国際日本学専攻を中心に日本文化を海外へ発信、留学生を呼び込む独自の入試方式を導入。

国際共創学部 国際共創学科(仮称)

文系と理系の枠を超えた  
複眼思考

グローバルとローカルの  
連関を捉える複眼思考

理論と実践を往還する  
複眼思考

① 確かな専門性を身につける**2つの専攻**

国際日本学専攻(仮称)

【学びのキーワード】

- 国際日本学 ●生活文化 ●比較美術
- ポップ・カルチャー ●地域創生
- 共生社会 ●東京・武蔵野論 ●日本語教育

環境サステナビリティ学専攻(仮称)

【学びのキーワード】

- グローバル経済空間 ●サステナブル観光
- 気候変動 ●地球・宇宙環境
- 環境データサイエンス ●防災・減災

専攻間の垣根を越えて学ぶ

② 国内外の地域で  
実践的に学ぶ  
フィールドワーク

③ 世界とつながる  
グローバル  
コミュニケーション力

④ Society 5.0時代の  
必須スキル  
データ分析・活用力

⑤ 各年次に  
演習科目を配した  
成蹊伝統のゼミ教育